

# 長野県革新懇ニュース

2023年4月号  
発行日4月10日  
会費 2,000円  
購読料 3,000円(送料込)  
振替 00510-3-15971

285

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会  
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕  
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内  
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 清水英男さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」関秀雄さん
- 3面 国際女性デーで集会、石垣島陸自駐屯地開設に思う読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ「品川」ナンバーとササヤン 窪島誠一郎さん  
鎌田山の通信施設用地下壕 北原高子さん  
映画評論『BLUE GIANT』 内山到さん

長野県革新懇

検索



1930(昭和5)年、宮田村。生まれ。14歳で731部隊に入隊。敗戦で帰国。その後、独学で建築士の資格を取得。建設業を営み生計を立て、今日に至る。

## 飯田市平和祈念館は 731部隊の実態を伝えるべき

しみず ひでお  
清水 英男 さん

(元731部隊少年隊員)

### 何も知らされず 731部隊に配属

Q どのような経緯で731部隊に入隊されたのですか?

私は昭和5年に今の宮田村で二男三女の次男として生まれました。私が731部隊に入隊することになったのは学校の先生の推薦です。その理由ははっきりしませんが、どうも図工が得意ということに勧められたようです。そして、何をされるのかも知らされず、第4期の見習技術員として採用されました。勤務場所はハルビンということでした。国民学校高等科卒業の3日後の昭和20年3月23日に宮田村を出発して下関に集合し、博多港から釜山に渡り、ハルビンに向かいました。この時私は14歳でした。同期は34名、このうち伊那からは11

### 他の班のことは まったくの極秘

Q 部隊ではどのような仕事をされたのですか?

同期のうちの3名だけが教習部の実習室に配属されました。そこでの業務内容は、出勤して着物を滅菌し、白衣に着替え、病原菌の基礎知識(細菌検査法、培養基製法、滅菌消毒法)を勉強することが主でした。時には実験用のネズミの尻からプラチナの耳かきのような棒で採取したものをシャーレーの菌床に植え付けたり、ろ過器を通した水の検査も行いました。他班のことについては極秘になっており、同期生が何をしていたかは一切分かりません。

### 少年隊員も 人体実験の対象

Q そのほかに記憶に残ることはどんなことですか?

現地住民の現状も見学しました。当時の現地住民は、高床式のトイレで、排泄物をそのまま下に落とすという不衛生な生活環境でした。日本の兵隊が現場で戦闘をした場合に、そうした不衛生な環境で病気になるか、どうなのかを調査する為の見学であったのだと思います。

### 人体の標本を見て 悪夢にうなされた

Q 解剖標本などを目にしたことありますか?

標本室を見学したことがあります。そこには、ホルマリン漬けされた人体の各部分の

### 班長の暴力支配に 少年隊員が復讐

Q 部隊での生活はどのようなものでしたか?

当時、少年隊舎を支配するT班長の暴力が多くの少年隊員を苦しめていました。T班長は軍律のもとに、ことあるごとに少年隊員の行動や言動に文句をつけ、感覚がなくなるほど殴りつけ、暴力で少年隊員を支配していました。そんなある日、一部の少年隊員たちがT班長への復讐を計画し、実行に移しました。私は加わっておりませんが、それを見ておりました。暗闇の中で、少年隊舎で複数の少年隊員に襲撃されたT班長は、半死半生で少年隊舎から逃げ出

### ソ連軍の急襲の中 マルタを焼却処分

Q 敗戦の前後はどのような状況でしたか?

昭和20年8月9日、午前中までは平穏でしたが、午後になり急変しました。夜になるとソ連の空襲がありました。防空壕に隠れていましたが、蚊に食われるなど、とても中にはいれず、その日はなかなか寝つけられませんでした。11日朝、先輩研究者が「まだ煙が出ているな」と話していたのは特設監獄にいたマルタの人たちを焼いた煙であったのではないかと思います。12日には特設監獄の中に入り、焼いた人の骨拾いをしました。終わった時点で、特設監獄の爆破用の爆薬の運搬を行い、その後、退避命令が出たため、ボイラー室の陰まで退避しました。爆破した破片が、5階ほどの建物を飛び越えて飛んで来ました。

【2面に続く】